

中国語学・中国文学

●どんなことを学ぶの？


中国語学とは中国語の言語学のことです。英語や日本語とは全くことなる言葉のしくみに迫ってみましょう。中国文学とは中国語で書かれた文学のことです。李白や杜甫、魯迅だけでなく、幅広い時代・ジャンルの作品や作家について研究しましょう。全てが漢字だけで表される、中国語の世界に飛び込んでみましょう。


●講義の一例

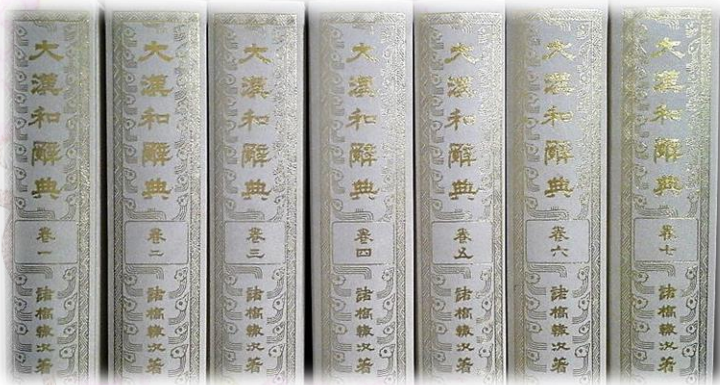
- 🐼 六朝志怪小説（六朝時代の怪異なことを述べた小説）の有名な作品を精読します。
- 🐼 中国文学史と各時代の主要作家、作品、古典の訓読、辞書の種類などについて学びます。
- 🐼 現代中国語の文法について、品詞・文法成分・構文の観点から理解を深めます。
- 🐼 明代に書かれた白話小説を、現代中国語との表現の違いを意識しながら読み進めます。
- 🐼 中国南北朝時代の詩文集『文選』とその注を精読します。



●学生の声（中国語学）

 中国語学の授業では、一年生で学んだ中国語を、さらに踏み込んで学習できます。文法を深く学ぶことで、より日本語と中国語との違いが分かってくるのが楽しいです。また、教科書で習う表現は、必ずしもネイティブの会話では使われないということが分かったり、中国の文化についてお話を聞いたりしながら、より実用的な中国語を学べます。

 中国語学の授業では言語の様々な特徴を知ることができました。中国語の似た表現の違いや中国語と日本語の比較など、様々な角度から、より深く中国語を知ることができました。文法がどのような仕組みでできているかということを知ることができ、とても楽しく感じます。



写真左：大漢和辞典（大修館書店）書影
右：雲崗石窟（大同）

●学生の声（中国文学）

📖 中国文学の授業では、今は古典を中心に学習しています。高校で学んだ訓読を元に、実際に詩などを読解します。高校では文法事項を重点的に習い、作品の内容については詳しく触れなかったという方、もっと漢文の世界に浸りたいと思っている方におすすめしたいです。

📖 中国文学の演習では中国文学を読み自分で訓読をして訳をつけるということをしていて、自分で中国の文学を読み解くのが難しく感じますが、文の意味が分かったとき達成感を感じます。文中に出てきた人物や文献について調べて、この表現はどの文献の内容のことを表しているのかを探すのにとってもやりがいを感じます。



写真：天壇公園祈年殿（北京）

●教員紹介

千野 真一 HOSHINO Shinichi 中国語学

中国語学の授業を担当しています。口語語彙の変遷、特に前置詞に関心があり、歴代の文学作品などに見られる用例をもとに考察しています。中国語を学び初めのころは、徹底して音声を体にしみ込ませ、音に対する反応を磨きましょう。文法を学ぶ際は、日本語や英語など、他の言語との違いにも目を向けてみましょう。言語表現には、その言語の世界の切り取り方が反映されていますから、中国語的なものの見方に迫ることが、学ぶ楽しさ、多様な価値観の修得につながります。

小島 明子 KOJIMA Akiko 中国文学

中国清末の文学と周辺の文化背景に興味をもち、特に王国維の詩・詞・文学論と『教育世界』という雑誌について研究しています。授業では中高では学ばない中国文学に着眼し、研究する上で基礎となる資料を、古典を中心に幅広く選定し、精読を行い、読解力を養う訓練を行っています。しかし、授業は一つのきっかけにすぎません。大学での学問はここから始まります。これを機にたくさんの作品に触れ、自ら世界を広げていってください。